

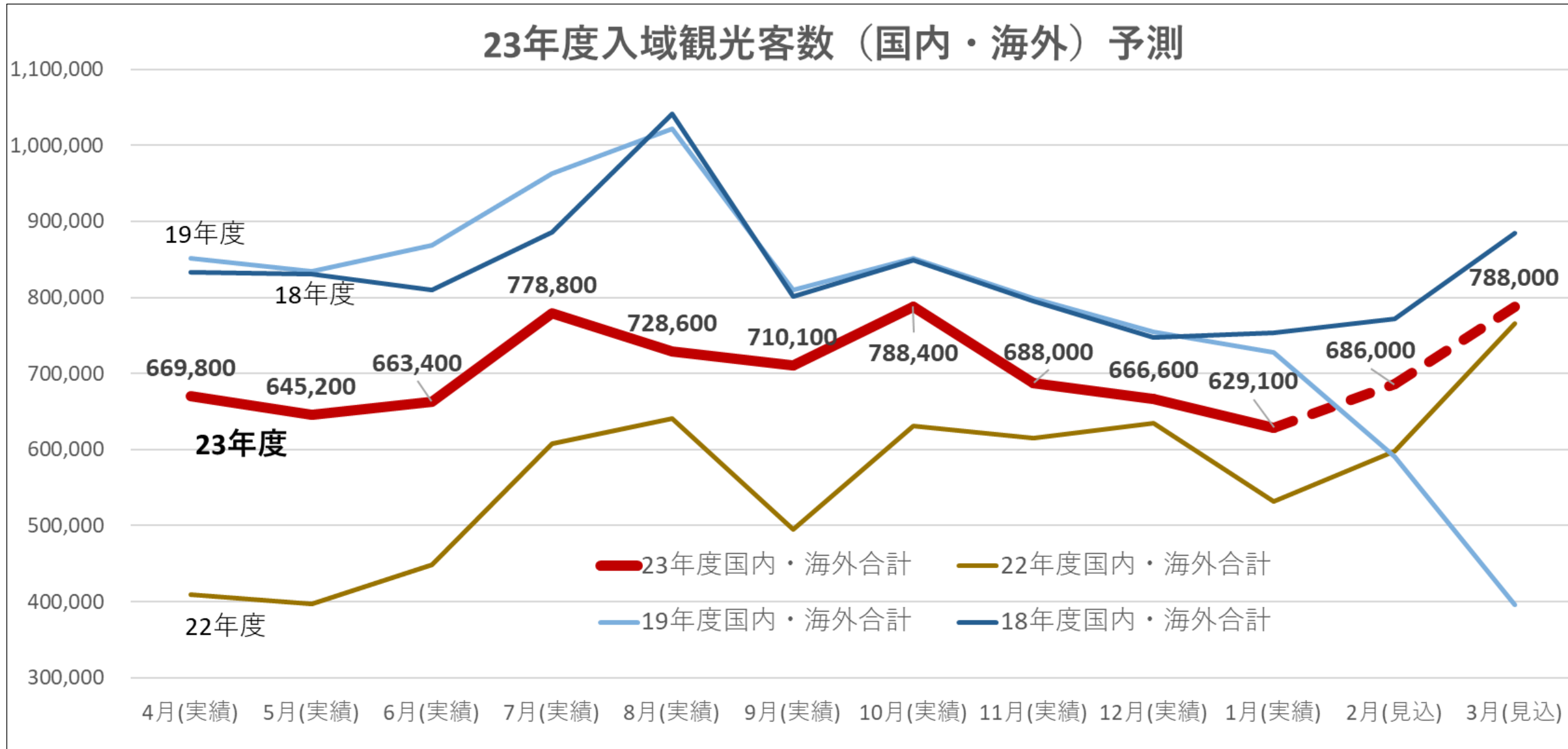
入域観光客数概況(24年1月実績および2月～3月見通し)

1. 入域観光客数概況(24年1月実績および2月～3月見通し)

	4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月(実績)	8月(実績)	9月(実績)	10月(実績)	11月(実績)	12月(実績)	1月(実績)	2月(見込)	3月(見込)	23年度計
23年度国内(空路)	601,700	564,200	577,300	654,900	628,700	599,700	667,600	595,400	566,500	504,800	558,000	650,000	7,168,800
23年度国内(海路)	1,400	11,100	8,400	8,700	3,500	3,800	5,300	1,700	5,000	4,000	2,000	8,000	62,900
23年度国内合計	603,100	575,300	585,700	663,600	632,200	603,500	672,900	597,100	571,500	508,800	560,000	658,000	7,231,700
23年度海外(空路)	60,200	63,300	68,100	80,300	71,600	79,600	79,000	77,300	88,900	92,800	96,000	95,000	952,100
23年度海外(海路)	6,500	6,600	9,600	34,900	24,800	27,000	36,500	13,600	6,200	27,500	30,000	35,000	258,200
23年度海外合計	66,700	69,900	77,700	115,200	96,400	106,600	115,500	90,900	95,100	120,300	126,000	130,000	1,210,300
23年度国内・海外合計	669,800	645,200	663,400	778,800	728,600	710,100	788,400	688,000	666,600	629,100	686,000	788,000	8,442,000
22年度対比(国内・海外)	163.8%	162.6%	147.9%	128.1%	113.7%	143.5%	125.0%	111.9%	105.0%	118.2%	114.7%	102.8%	124.6%
19年度対比(国内・海外)	78.7%	77.3%	76.4%	80.8%	71.3%	87.7%	92.6%	86.1%	88.3%	86.4%	116.1%	198.8%	89.2%
18年度対比(国内・海外)	80.4%	77.7%	81.9%	87.9%	70.0%	88.6%	92.8%	86.5%	89.2%	83.5%	88.8%	89.1%	84.4%
23年度国内空路/19年度国内空路	100.9%	101.4%	102.1%	100.2%	85.4%	101.8%	108.5%	99.9%	100.1%	94.9%	105.9%	165.7%	103.5%
23年度国内海路/19年度国内海路	28.0%	108.8%	200.0%	126.1%	145.8%	292.3%	94.6%	42.5%	74.6%	181.8%	69.0%	500.0%	118.7%
23年度国内合計/19年度国内合計	100.3%	101.6%	102.8%	100.4%	85.6%	102.2%	108.4%	99.5%	99.8%	95.2%	105.7%	167.0%	103.6%
23年度海外空路/19年度海外空路	40.6%	39.0%	40.1%	46.1%	47.7%	65.9%	64.2%	79.0%	84.7%	76.1%	185.7%	3958.3%	66.7%
23年度海外海路/19年度海外海路	6.4%	6.2%	7.5%	27.1%	18.7%	27.6%	34.0%	13.4%	8.0%	38.4%	322.6%	皆増	24.3%
23年度海外合計/19年度海外合計	26.6%	26.0%	26.0%	38.0%	34.1%	48.7%	50.1%	45.7%	52.1%	62.2%	206.6%	5416.7%	48.6%
23年度国内空路/18年度国内空路	108.6%	111.7%	108.7%	110.9%	85.6%	105.3%	111.3%	100.0%	99.9%	96.8%	105.9%	100.1%	103.2%
23年度国内海路/18年度国内海路	66.7%	118.1%	247.1%	202.3%	49.3%	223.5%	189.3%	19.3%	156.3%	190.5%	37.7%	102.6%	108.4%
23年度国内合計/18年度国内合計	108.4%	111.8%	109.6%	111.5%	85.3%	105.7%	111.6%	98.8%	100.2%	97.2%	105.2%	100.1%	103.3%
23年度海外空路/18年度海外空路	39.6%	40.9%	40.4%	48.3%	43.2%	53.5%	52.7%	61.7%	63.0%	61.7%	69.2%	66.9%	52.8%
23年度海外海路/18年度海外海路	5.2%	4.1%	9.0%	28.0%	18.5%	33.0%	37.8%	20.6%	17.2%	34.6%	29.6%	41.4%	21.6%
23年度海外合計/18年度海外合計	24.1%	22.1%	28.2%	39.6%	32.1%	46.2%	46.9%	47.6%	53.7%	52.3%	52.5%	57.4%	40.3%

1. 入域観光客数概況(24年1月実績および2月～3月見通し)

23年度入域観光客数(国内・海外) 予測



入域観光客数概況(24年1月実績および2月～3月見通し)

1. 入域観光客数概況(24年1月実績および2月～3月見通し)

(概況)

国内入域については県内各地で開催されるマラソン大会やプロ野球・プロサッカーキャンプなどのスポーツイベントの開催および、春休み期間中を中心に、旅行需要は引き続き好調に推移すると見込まれる。宮古・石垣を含む東京発沖縄路線の需要が高い。

海外入域については、空路は特に台北、韓国仁川、香港路線については予約が堅調に推移しているほか、台北路線の増便および高雄路線の運航再開、上海路線の増便等により空路入域客数に関してはコロナ前の7割弱の水準まで回復する見込み。

海路は那覇発着のクルーズが2～3月間で計8件の他、台湾や中国(上海・厦門・香港)などから入港が予定されているが、入域客数はコロナ前の3割程度の水準となる見通し。

(詳細)

・2月 :【国内】(空路)コロナ前とほぼ同水準の 55.8万人(20年2月対比 105.9%)と見込む。2度の3連休周辺を中心にプロ野球、プロサッカーキャンプ等の旅行需要は好調に推移する見込み。宮古・石垣を含む東京・大阪発沖縄路線の需要は引き続き高い。

(海路)入域客数は 0.2万人(19年2月対比 37.7%)となる見通し。尚、那覇発着台湾(基隆)クルーズの運航が7件予定されている。

【海外】(空路)春節連休期間(2月10日～17日)を中心に台湾や韓国路線および香港路線については好調に推移しているが、中国本土(上海、北京)路線については全体的に需要は低調となっている。入域客数は 9.6万人(19年2月対比 69.2%)となる見通し。

・台北那覇路線◆チャイナエアライン:1月1日から火・木・土・日曜のみ1日2往復へ増便

・高雄那覇路線◆チャイナエアライン:1月1日から月・水・金曜のみ運航

・上海那覇路線◆中国東方航空:1月26日から月火木金日曜(週5)のみ1日2往復へ増便

◆中国春秋航空 1月26日より新規就航(月・水・金・日曜) ◆上海吉祥航空 3月31日まで運休

(海路) 香港や上海などから計8回入港予定。入域客数は 3万人(19年2月対比 29.6%)となる見通し。

・3月 :【国内】(空路)春休み需要が堅調で、コロナ前とほぼ同水準の 65万人(19年3月対比 100.1%)と見込む。

(海路)入域客数は 0.8万人(19年3月対比 102.6%)となる見通し。

【海外】(空路)入域客数は 9.5万人(19年3月対比 66.9%)となる見通し。

(海路) 香港や上海などから計15回入港予定。入域客数は 3.5万人(19年3月対比 41.4%)となる見通し。

尚、那覇発着台湾(基隆)クルーズの運航が1件予定されている。

令和6年2月28日（水）

春節期間中における中華圏等からの入域客について（報告）

春節に伴う大型連休期間中（2/8～2/17）における中華圏等からの搭乗実績について、沖縄へ直行便を運航している台湾、韓国、香港、中国の各航空会社14社からの報告によると、前回、発表した予約数31,000席に対し、7%増の約33,000席であったことが分かりました。内訳としては台湾49%、韓国28%、香港15%、中国8%となり、台湾および韓国で全体の半数以上を占める結果となりました。また、中国からの旅行客は予約数より38%増で、個人旅行の増加による手配の間際化が進んでいるものと思われます。

併せてインバウンド客も多く利用する県内の主な小売事業者数社に聞き取りを行ったところ、「前年の春節時期と比較し免税実績が倍以上となったものの、2019年との比較では55%程度だった」。また、別の企業担当者からは「売り上げは対前年比で大きく増加したが、2019年比では20%程度で、まだまだ回復には遠い。台湾や韓国と比較して、買い物に対する消費活動が旺盛な中国人観光客が戻らないと厳しい。」との声も聞かれました。

※2024年春節：2月10日

※春節（旧正月）による公休日

台湾：2月8日～2月14日

香港：2月10日～2月13日

韓国：2月9日～2月12日

中国：2月10日～2月17日

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

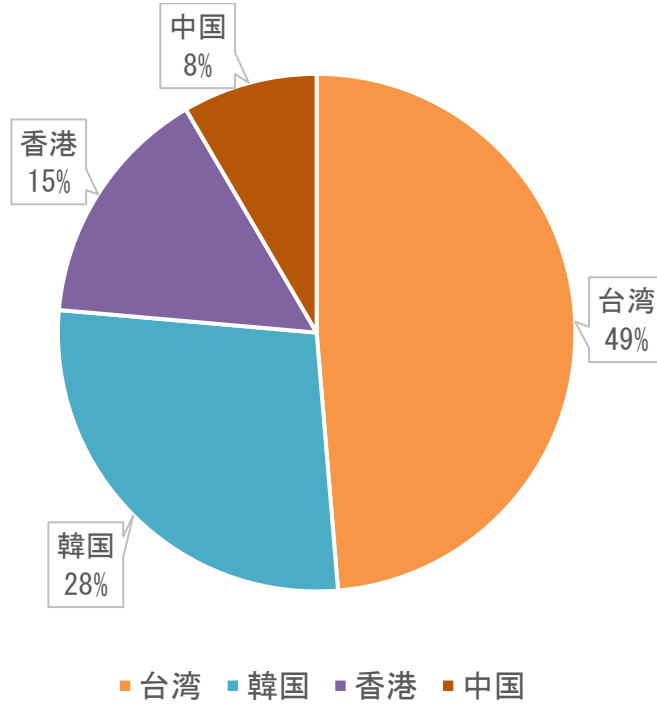
海外・MICE部 海外プロモーション課 担当：恩田・奥平

TEL:098-859-6127 FAX:098-859-6221

Mail: ocvb_china@ocvb.or.jp

(資料) 2024 年春節期間 (2/8~2/17) の中華圏等入域観光客実績

有償搭乗人数



路線別	座席予約数	搭乗実績	増加数	増加率
台湾	16,203	16,200	-3	0%
韓国	8,747	9,224	477	5%
香港	4,179	5,049	870	21%
中国	2,037	2,807	770	38%
合計	31,166	33,280	2,114	7%

予約数、実績ともに調査対象：14社

●中華圏および韓国から約 33,000 人来県

●搭乗実績は予約時の 7%増

予約時 約 31,000 人

実績 約 33,000 人

→春節期間中、最終的に 7%増加

令和6年2月28日（水）

沖縄修学旅行に関する取り組み

沖縄県における修学旅行について、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）で行った調査によると、今年度の修学旅行入込数は、コロナ前と比較し、約 8 割程度まで回復してきておりますが、県内事業者において課題となっている人材不足や、少子化等による市場規模の変化を踏まえながらも、安定的な修学旅行需要を確保するため、沖縄県より受託した「令和5年度教育旅行推進強化事業」の一環で、下記の取り組みを行いました。

1. 平和学習関連団体向け交流会の開催

沖縄修学旅行において平和学習は重要な柱であり最も需要が高い分野の1つですが、語り部等の高齢化に伴いガイドやスタッフ等の不足が課題となっております。一方で、令和4年度に沖縄県・OCVBが行った平和学習に関する調査では、過去に平和教育に関するワークショップや養成講座等を受講した方々は継続的に平和学習に関わっていきたいという意向が高いという調査結果があることから、平和学習プログラムの提供や施設運営を行っている県内団体との交流会を開催し、人材マッチングのきっかけづくりを行いました。

■ 平和学習関連団体と平和講座受講経験者等の交流会

日時：令和6年2月26日（月）

場所：沖縄産業支援センター 1F 大ホール

参加者：平和学習プログラム提供団体、平和学習関連施設 8 団体

平和学習に関心のある一般参加者 6 名

<参加者からのコメント>

- ・若い世代の方と話すことで学ぶこともあり、他の平和学習団体の皆様の具体的な取り組みを詳しく聞く機会にもなったので、気付きが多いとても良い機会だった。
（平和学習団体）
- ・各団体のフィールドワーク等に参加する機会などがあるとさらに理解が深まってよいと思った。今後もこのような交流の場があるとよい。（一般参加者）

2. 沖縄修学旅行全国キャラバンの実施

2025年度の修学旅行の入札シーズンがスタートしたことから、沖縄修学旅行を検討・提案している旅行会社へ向けて、県内で修学旅行受入を行っている事業者様と共に沖縄修学旅行の魅力や、具体的なプログラム紹介を行うことにより、本県への修学旅行誘致促進に資することを目的に「沖縄修学旅行全国キャラバン」を実施いたします。本県への修学旅行実施校率が高い地域やこれまでセールスが行き届いていなかった地域4か所を選定し、訪問します。

■沖縄修学旅行全国キャラバン

日時：令和6年2月28日（水）

実施場所：新潟県、群馬県、静岡県、福岡県 ※4県に分かれて実施

県内参加事業者数：14社（新潟県2社、群馬県4社、静岡県4社、福岡県4社）

訪問先：各県にて修学旅行取扱のある旅行会社

【参考】2023年度（令和5年4月～令和6年3月）の修学旅行見込入込数

※2月6日時点、旅行社15社中6社からの回答により推計（OCVB調査）

※2018年度・2022年度修学旅行入込実績（沖縄県観光政策課発表の修学旅行入込実績、2023年度OCVB調査による入込見込み数を掲載）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	校数	218	429	217	27	1	67	382	389	386	122	104	86	2,428
	人数	26,033	54,779	34,575	3,253	37	11,698	80,400	85,195	71,947	24,641	15,738	15,185	423,481
2022年度	校数	66	97	101	25	1	40	292	324	272	86	86	92	1,482
	人数	9,166	283	14,697	3,580	9	7,179	55,182	65,892	49,178	14,952	15,301	15,264	250,683
2023年度	校数	113	283	159	22	4	39	313	358	272	80	94	65	1,802
	人数	14,750	36,745	26,194	2,797	165	6,747	64,591	79,839	50,456	14,150	16,361	11,345	324,140
月別シェア	人数	4.6%	11.3%	8.1%	0.9%	0.1%	2.1%	19.9%	24.6%	15.6%	4.4%	5.0%	3.5%	100.0%

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 担当：屋宜

TEL:098-859-6129

FAX:098-859-6221

Mail:shuryo@ocvb.or.jp

令和6年2月28日（水）

「未来を切り開く人材育成」セミナーを開催します ～社員のモチベーション向上と定着を考える～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎）は、沖縄県より「観光人材育成・確保促進事業」を受託しており、本格的な観光需要の回復に向けて、観光産業における人材育成と定着を目的に、「未来を切り開く人材育成」セミナーを開催いたします。

2部構成のうち、第1部では企業の人事担当者向けに「人材定着に効果的な新入社員・若手社員研修の方法や研修の必要性」に関するセミナー、第2部では新入・若手社員向けに「コミュニケーション研修」を実施いたします。研修を連動して行うことで、人材育成の必要性を改めて認識してもらおうと共に、県内の観光業を支える新入・若手社員のモチベーション向上及び定着を図ります。

つきましては、当日の取材およびセミナーの周知についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

■開催概要

【日 時】令和6年3月8日（金）12:00～16:30

【場 所】ノボテル沖縄那覇 ラーボ（L'ARBRE）

【対 象】主に人事担当者、24年入社の新入社員、入社3年未満の若手社員

【参加費】無料

■スケジュール

【第一部】12:00～14:00 人事担当者向けセミナー

テーマ：「人材定着・離職防止のための働きやすさとやりがいを育む、人事制度と人材育成」

講 師：株式会社ワダチラボ 企業支援事業部長 人事コンサルタント リム紗代氏

【第二部】14:30～16:30 若手・新入社員向け研修

テーマ：「共感を生み出すコミュニケーション

～自分も、仲間も、お客様も幸せになるために～」

講 師：株式会社Life is Love 代表取締役 比嘉華奈江氏

※詳細は、別添チラシを参照ください。

【問合せ先】（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター
担当：川崎、瑞慶山、金城
TEL：098-859-6129 E-mail：ikusei@ocvb.or.jp

令和5年度 観光人材育成・確保促進事業

参加
無料

未来を切り開く 人材育成

社員のモチベーション向上と定着を考える

人事の役割ってなに？
働き続けたい職場への第一歩。

日時

令和6年

3月8日(金)

第1部

12:00～14:00

第2部

14:30～16:30

(各部30分前に受付開始)

会場

ノホテル沖縄那覇 ラーボ(L'ARBRE)

お申込は
こちら



人材が定着しない…

人材育成方法が
わからない…



人材育成制度を
プロに教えてほしい

社員のスキルアップの
機会がほしい

コロナ禍で研修が
できなかった…

そのお悩みまとめて解決!

人事担当者向けセミナー

若手・新入社員向け研修

第1部

人事制度と育成方法をプロが伝授!

人材定着・離職防止のための働きやすさ
やりがいを育む、人事制度と人材育成

講師

株式会社ワダチラボ
企業支援事業部長 人事コンサルタント

リム 紗代 氏

プロフィール

大学卒業後、マレーシアに移住。東南アジア有数のリゾート地で接客経験から多様性を学ぶ。沖縄に移住後、人種・国籍の違う人たちとのコミュニケーションの経験を糧に、県内観光施設の広報と営業に転職し、NLP、影響言語などからコミュニケーションを体系的に学び始める。その後、就職支援機関でのキャリアコーチを経て、ホテル運営会社にてコーチングマネージャーとして社内研修を専任し、社員のための研修構築、実施に携わる。ワダチラボでは「誰もが可能性を信じられる社会づくり」の理念のもとに組織内コミュニケーションの質を高める取り組み、関わりを伝え広げている。



第2部

スキルアップの機会を社員に提供!

共感を生み出すコミュニケーション
～自分も、仲間も、お客様も幸せになるために～

講師

株式会社Life is Love
代表取締役

比嘉 華奈江 氏

プロフィール

大分県出身 1998年沖縄へ移住。日本トランスオーシャン航空株式会社にて14年間客室乗務員として勤め、安全と顧客満足の追求、そしてチームづくりは人づくりであることを現場で学び実践。2012年、働き方改革コンサルティング会社を設立。働き方改革、組織開発コンサルティングや次世代リーダー育成、コミュニケーションや接遇マナーなどの研修を行う。日本コミュニケーション能力認定協会本部トレーナー/上級トレーナー。著書に『上司に信頼される話し方部下を傷つけない話し方』(ダイヤモンド社)。



POINT

- 4月入社の新入社員も参加できる!
- 観光業で役立つコミュニケーションスキルを習得!
- 春からできる新人研修のイメージがふくらむ!

第2部の参加者も人事担当者が社内に取りまとめの上、お申込みください。

第2部のセミナーは人事担当者もオブザーバーとしてご参加いただけます。



お問合わせ

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部受入推進課 観光人材育成センター

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831-1 沖縄産業支援センター2階 担当: 川崎、瑞慶山、金城

TEL: 098-859-6129 / MAIL: ikusei@ocvb.or.jp